

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCM224	TCM_美容通訳	
科目名（コード）	TCM224	TCM_美容通訳	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CM2	単位数	2単位30
授業担当者	徐 磊	時間数	
成績評価教員	徐 磊	講義期間	秋期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	通訳現場知識、美容整形基礎知識の学びの中で、学生が美容整形業界のイメージがつき、手術、施術される体の部位、それから関連性がある専門用語に対して、日中通訳・翻訳ができる。
全体の内容と概要	・毎回、授業前半で、10個の専門用語の理解度を確認する。 ・メスを使わず低侵襲系と外科手術系二分野の美容整形方法。美容整形業界現状と通訳現場注意
授業時間外の学修	授業後に、新出語彙の読み方と意味を調べる。
履修上の注意事項等	期末試験は学生が各美容整形手術の全般的な把握状況を検証するため、必ず自主学習を行うこと。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	美容整形通訳という職業の紹介と現場注意	美容整形通訳という職業の紹介と理論、論理説明。通訳現場における細かい注意点の説明。
2	美容整形の入門、業界全体についてイメージできる	日本美容業界の現状。美容に関する日中韓3カ国の動向など。
3	美容整形マーケティング情報の把握	美容整形マーケティングと動向
4	美容整形における解剖学の知識を把握	美容整形通訳における吸収必要な解剖学知識 皮膚、輪郭、目、鼻、豊胸など。
5	手術療法の理解と吸収 1	美容整形通訳に必要な外科手術の知識 目：二重まぶた形成&傷跡修正、鼻：隆鼻（ロールプレイ） ※小テスト
6	手術療法の理解と吸収 2	美容整形通訳に必要な外科手術の知識 口：唇 ※小テスト 顔：輪郭（ロールプレイ）
7	手術療法の理解と吸収 3	美容整形通訳に必要な外科手術の知識 バスト：豊胸 ※小テスト 痩身・脂肪吸引（ロールプレイ）
8	非手術療法(低侵襲療法)の理解と吸収	美容整形通訳に必要な低侵襲療法の知識 注入療法：シワ・美肌/たるみなど レーザー療法(あざ/しみ)糸療法※小テ
9	その他療法の理解と吸収	美容整形通訳に必要なその他療法の知識 抗加齢医学：各種注射 ※小テスト 予防医学：予防注射治療・各種検査
10	美容通訳士の対応姿勢・質問回答	通訳現場、そして現場以外にお客対応に注意事項、美容整形の客心理など 過去の授業に対する質問回答など ※小テスト
11	ビジネスマナー通訳士マナーを身につける	一般の社会人としての基本マナー 通訳士として特に注意すべきマナー
12	期末試験	オープン試験のレポート作成
13	期末プレゼン1	チーム毎に選んだテーマを発表
14	期末プレゼン2	チーム毎に選んだテーマを発表
15	成績発表と再テスト	※小テストの再テストチャンス

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	担当教師が用意するプリント
参考文献・資料等	
備考	水曜日 2 限 ・本講師は、通訳分野で活躍し、企業・公的機関や大学等の高等教育機関にて、指導を歴任している。また出版関係でも活躍し、本校での実務者教員である。